



# point 防災学習への意欲とユーザビリティーの向上

**震度予想** 指定した位置だけでなく、広範囲の地図で確認可能

**より近い避難所の提示** 順位をつけることで迷いを軽減

**選択した避難所周辺** ストリートビューで実際の場所を360°確認

**津波浸水予想** 地図の色と、文字とで直感的に把握

TOP画面（利用頻度の高い場所順に表示）



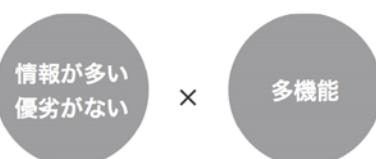
## 目的・ターゲット

防災に関する基礎知識の少ない子供から  
アプリケーションの操作に慣れないお年寄りまで、  
自身の普段生活している地域における災害リスクや  
避難所等の情報を把握し学習することを  
日常的に行うこととする。



## 既存アプリの問題点

いろんな機能が一つの画面に集中していることが多い。  
また、同じインターフェースに多くの機能が集中していると  
ユーザーの迷いに繋がっている。

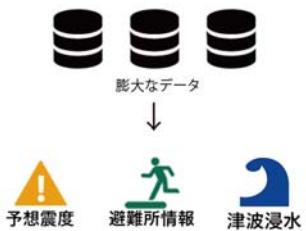


## 仕組み

追跡記録した位置情報履歴から  
その人の生活圏を自動判別



生活圏に応じた  
必要度の高い防災情報を抽出



シンプルでわかりやすい  
ユーザーインターフェースで表示



シンプルな構造とアイコン  
ストリートビュー画像による現実とのリンク  
使用頻度によるボタン位置の優劣



## 今後の展望

鎌倉→全国版への拡大。

機能の充実化

システムの向上

- ・避難所までのナビゲーション  
※ストリートビューで道を確認できる
- ・危険度に応じて情報の優劣を付ける